



市議会6月定例会

行政報告

エコタウンフェア21inおおだての開催について

県北部エコタウン事業や循環型社会形成の推進、廃棄物の減量とリサイクルの促進、さらには地域環境の状況などについて広く周知を図り、環境と調和したまちづくりを進めるため、九月二十一日から三日間「エコタウンフェア21inおおだて」を開催します。

このフェアは経済産業省や秋田県の支援を受けて行うもので、市民文化会館での「シンポジウム」と大館樹海ドームでの「環境展」

の開催を予定しています。

そのため、五月七日には関係する二十一団体によって実行委員会を設立し、現在開催に向けて作業を進めています。

また、このフェアを市制施行五十周年記念事業の一環としても位置付け、環境・リサイクル推進都市「大館」として、全国に情報発信するとともに、地域の活性化にもつなげていきたいと考えています。

2カ月で約8,000台の使用済み家電を再資源化

本年四月から家電リサイクル法が施行されましたが、その後の状

況について報告します。使用済みのテレビ、洗濯機、冷蔵庫、エ

コンの四品目は、家電販売店や廃棄物許可業者によって回収されています。本市の家電リサイクル工場にはこの二カ月間で約八千台が搬入され、再資源化が行われています。

本市では、家電リサイクル法の趣旨や家電四品目の適正な処理について、昨年からは町内会での説明会や広報活動を行い、法施行後は監視パトロールの強化に努めてきました。しかし、四月に入ってからごみステーションや山中にテレビなどの不法投棄が発見され、そ

農作物は平年を上回る生育

この冬は積雪量が多く、農作業の遅れなどが心配されましたが、春の訪れとともに雪解けが一気に進みました。その後の天候にも恵まれたことから、農作物の生育は全体としては平年を上回る状況が報告されています。

基幹作物である水稲は、四月上旬からの好天も手伝って作業は順調に進み、平年よりも二日早い五月二十一日に移植作業の終期となりました。一部の苗に霜の害で「葉焼け」があったものの、その後の回復が著しく、本田での活着はおおむね順調です。

の対応策について警察署とも協議中です。

今後とも、不法投棄が予想されますので、使用済み家電の適正な処理と、ごみ分別・リサイクルの推進について市民の皆さんに周知を図り、協力をお願いしていきたいと考えています。



また、野菜については、アスパラガスなど一部の露地野菜に遅霜の被害と、少雨による定植作業の遅れがありました。病害虫の発生も少なく、全般的には平年を上回る生育が期待できます。

ただ、果樹については、開花直前の四月二十一、二十二日に強い遅霜に見舞われ、花のつぼみに大きな損傷がありました。その後の調査で、リンゴの出来を左右する中心花と、ナシの出来を左右する二、四番花に被害がありました。特にリンゴでは、王林やジョナゴールドに多く、このような被害は